

## 自分らしく生きる

小五

「ふつうって何ですか。」

学校で先生がクラスのみんなに質問していた。ぼくもちょっと考えてみた。

「男の子は、青や緑が好きだけど、ピンクが好きだったら女の子みたいで変だと思う。」「かみの毛の短い女の子は、男の子みたいで変だと思う。」ぼくは、ふつうについてそう思っていた。でも、授業を進めていく中で、考え方が変わってきた。

男らしさ、女らしさって何なのか考えてみた。ぼくが思う男らしさとは、「青や緑が好きで、かみの毛が短く、自分のことをぼくとよぶこと。」だと

思っていた。しかし、ぼくがずっと女の子だと思っていた芸能人は、実は男の人だということを知ったとき、ぼくは、とてもおどろいた。なぜなら、おけしようにして、かみ型や服さうなど、見た目が女性だったので、ずっと女の子だと思っていたからだ。

ぼくは、少し違和感わかんを覚えた。ずっと女性だと思っていた人が、実は男性だと知り、見る目が変わった。正直、変だなと思ってしまった。でも、その芸能人について、自分なりに考えてみた。「男の人で女性の格好をしてみたい」ということは変なことなのだろうか。」ぼくは、ふつうではないと思ったが、でもそれをかくさないで自分らしく生きていくことがすごいと思った。先生はこんなことも言っていた。

「家事はいつもお母さんがしていて、仕事はお父さんがするのは、ふつうですか。」

ぼくは、ふつうだと思っていた。だけどクラスの友達の話を知っていると、お母さんも働いている家や、お父さんも家事をしている家があることを知った。よく考えてみれば、ぼくのお母さんも仕事をしている。お父さんも家事をしている。ぼくの家では、これがふつうだ。でも、どうして家事はお母さんがして、お父さんが仕事をするのがふつうだと思ったのだろうか。それはきっと、ほとんどの家では、そうあるのがふつうなんだと思っただけだ。しかし、みんながやっているからふつうということになると、ぼくの家はふつうではないのだろうか。そんなことは

ないはずだ。ぼくの家族は、今の生活で毎日笑顔で過ごせているし、お母さんがすべての家事をやるよりも、お父さんもいっしょにやることで、一人だけが大変な思いをしないですんでいるのだと思う。

ぼくは、改めてふつうについて考えてみた。今までは、みんなと同じであることがふつうだと思っていた。でも、今考えるとふつうなんてないのだと思う。ふつうとは、他人が自分の考えをおし付けているものであり、本当は、みんな周りのことを気にせず、自分らしく生きていいのだ。

ぼくは、この授業を受けて、ふつうや当たり前と思うことは、一人一人ちがうということに気が付いた。だから、ぼくは、人を見た目で判断したり、こ

ういう人だと決めつけたりしないで、  
ちやんと相手と話して相手を理解して  
いこうと思う。